

## 令和4年度中野市長定例記者会見（2月） 顛末

- 期 日 令和5年2月21日（火）
- 時 間 午後1時30分～2時01分
- 会 場 市役所4階 52・53号会議室
- 出席社 5社（北信ローカル 佐藤美紗、テレビ北信 土屋友和、  
信濃毎日新聞 佐古泰司、新建新聞 渡邊崇寛、  
読売新聞 内山景都）

### <質疑応答>

#### 【信濃毎日新聞】

予算希望について、過去最大と説明があったが令和3年、令和4年、令和5年と過去3年間最大を更新している。

今回、過去最大の大規模予算となった理由と市長の見解を伺いたい。

#### 【湯本市長】

国の支援事業の新しいものと、今行っている市民会館のリノベーション費用20数億円を令和5年に引き継ぐため規模が大きくなっております。

また通信施設の更新が、約8億円近い規模で令和5年度の新規事業の中に更改事業として入っておりますので、その辺が過去最大の要因の一つになるかと思えます。

#### 【信濃毎日新聞】

3年連続過去最大であることへの市長の見解を伺いたい。

市民会館ができたり、昨年までだったら旧永田小の改修などの事業があったが。

**【湯本市長】**

市民会館のリノベーションについては使えるものは修繕しながら長く建物の使用期間を延ばすということと、廃止された各小学校または目的によって譲渡された小学校もありますので、旧永田小学校、旧長丘小学校については地域の中の子育て、または県外とのスポーツ等を通じた交流施設になりますので人が集まるといったステージの違う活用方法となっております。

ですので、左手で壊して右手で再構築して活用していくというような方向を考えております。

全体で延べ床面積2割の削減にはまだ達しておりませんので、出来るところから譲渡などをしながら持っているものを減らすという方向は大きく変わっておりません。

**【信濃毎日新聞】**

市民会館は来年度で完成をする予定なので予算は大きく減るはずだが、市長の方針としては来年度なども事業規模を広げていく予定か。

**【湯本市長】**

国との関係もありますが、新しく作らなければいけない建物や30年、60年経過して更新時期を迎えている建物もありますので、必要なもので今後市にとってなければならない施設は、令和6年になるか7年になるかは別としましても、今後作っていく必要があると考えております。

**【北信ローカル】**

ポイントとしてまとめられたA3資料の左下の財源確保の取り組みについて、新たにオープンする施設や整備する施設に積極的にクラウドファンディングやネーミングライツとあるが、クラウドファンディングについて具体的に考えていることは。

**【湯本市長】**

今日、チョウゲンボウについて発表がありましたが、あと2つほどリノベーションが終わった市民会館の中に必要なものや、文化公園にアーチェリー場などを整備します。

そういう中で、ぜひ企業などでネーミングライツやクラウドファンディングを活用して協力したいという方がいらっしゃる事を期待して行っています。

**【信濃毎日新聞】**

予算案の概要の 16 ページのグラフを見ると、財政調整基金が結構減っており、5 年前は 29 億円だったが 11 億円と大幅に減額となったことについて市長の見解を伺いたい。

**【湯本市長】**

必要なものを必要な時に行わなければならないときのものが財政調整基金と考えておりますので、約半分ぐらいに減ってはいるが問題ないと思っております。

**【企画財政課長】**

補足させていただきますが、例えば公共施設等整備基金につきましても最大 40 億円あったものが来年度 17 億円ということもあるんですが、公共施設等整備基金についても今後積み増しをしていく予定であります。

市長が申し上げた通り財政調整基金についても公共施設等整備基金も問題があるとは考えておりません。

**【信濃毎日新聞】**

予算案の概要の 18 ページの子育て支援拠点施設管理事業費については「HUBLIC」の管理運営費用ということでよろしいか。

**【企画財政課長】**

「HUBLIC」の指定管理料になります。

**【信濃毎日新聞】**

「HUBLIC」の建設の増改築費については本年度の予算にのっているということよろしいか。

**【企画財政課長】**

当初 1 億 2 千万円ということでプロポーザルで業者選定を行い、1 億 2 千万円以内でと提案をいただいております基本的にはその金額です。

ただ、最終的に既決予算も活用しながら若干建築整備費について伸びてる部分もあるので、しゅん工の際にしっかりお示ししたいと考えております。